

授業科目 日常生活活動学

【担当教員名】 小林暲作・安達千佳子・五十嵐進・ 小野宏一・佐藤成登志	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

1. ADLについての基本的な知識を習得する。
2. 実習で接する代表的な疾患のADLについて学習する。
3. 問題点に対する目標設定、プログラム立案までできる。
4. 学生のグループが学習・発表を体験する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 概念について理解する。
2. 評価について理解し、各種評価方法の特徴について理解する。
3. 起居・移動動作、身の回り動作指導について理解する。
4. 各種疾患のADLについて理解する。
5. 問題点を抽出し、プログラムを立案できる。
6. 福祉用具についての理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	概念、範囲、分類	1	講義 小林
2	ADL評価（総論）	1	講義 小林
3	ADL評価（各種方法 1）	2	講義 小林
4	ADL評価（各種方法 2）	2	講義・演習 小林
5	起居・移動動作 1（学生発表）	3	講義・演習 小林
6	起居・移動動作 2（学生発表）	3	講義・演習 小林
7	身の回り動作 1（学生発表）	3	講義・演習 小林
8	身の回り動作 2（学生発表）	3	講義・演習 小林
9	身の回り動作 2（学生発表）	3	講義・演習
10	片麻痺のADL	6	講義・演習 安達
11	脊髄損傷のADL	5	講義・演習 五十嵐
12	住環境（住宅改修・福祉用具）	4	講義・演習 小林
13	関節リウマチのADL	4	講義・演習 小野
14	骨関節疾患（大腿骨折など）のADL	4	講義・演習 佐藤
15	ADLプログラムの立案と指導 1	4	講義・演習 小林

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	日常生活活動学・生活環境学	鶴見隆正編	医学書院	2005
参考書	日常生活活動（動作）—評価と訓練の実際—	土田弘吉・他編	医歯薬出版	1992年
	日常生活活動（ADL）	橋本 隆・他編	神陵文庫	1998年
その他の資料	資料配付			

【評価方法】

出席、発表、レポート、小テスト、期末試験、その他

【限修上の留意点】

教科書の予習を必ず行うこと。